

## 米国フロリダ州 柑橘類産業支援に1億4千万ドルの予算を承認

[FreshPlaza 2025年6月18日](#)

フロリダ州議会は、州の柑橘類産業のための約1億4千万ドルの資金提供を、2025-26年度の予算案どおり承認した。この割り当ては、植物の病害への対処、販売強化、梱包施設のインフラ整備、検査プロセスの改善等、同セクターにとって重要な様々な側面を対象としている。

1億3,967万ドルのパッケージのうち1億450万ドルは、柑橘類研究開発基金(CRDF)と共同で実施する柑橘類研究ほ場試験に割り当てられている。フロリダ州柑橘類協会のリリースによると、この取組みは、「柑橘類の生産量の増加及びCRDFを通じた研究の推進を目的として、果樹園の管理と病害対策及び治療、耐病性品種の開発、園地の設計、病害虫防除、植栽後の管理」に焦点を当てた大規模なほ場試験を支援するものである。

このほかの予算配分には、フロリダ州柑橘類局への1千万ドルが含まれ、これは収穫された柑橘類のマーケティング活動の強化に使用される。さらに1千万ドルは、フロリダ州農業消費者サービス局(FDACS)が所管し、梱包施設を改修するための機器の購入を支援する柑橘類梱包機材コストシェア事業に配分される。

FDACSの監督下で新しい果樹品種を開発し、柑橘類の生産量を増やし、カンキツグリーンング病に対抗する技術を進歩させるための柑橘類病害対策プログラムは、652万ドルを受け取る。残りの資金は、柑橘類の検査、回復プログラム等の取り組みに充てられる。

出典: Florida Politics

## アジア域内のコンテナ運賃は6月前半に8%上昇

[FreshPlaza 2025年6月18日](#)

アジアの主要18航路のスポットコンテナ運賃の加重平均であるドリュエリー社のアジア域内コンテナ指数(IACI)は、2025年6月前半に8%上昇し、40フィートコンテナ当たり707ドルに達した。この上昇は、地域別の輸送コストの顕著な変化を反映しており、アジア域内の物流全体に圧力が高まっていることを示唆している。

直近の上昇にもかかわらず、指数は依然として2024年6月の水準よりも27%低く、過去1年間の運賃の変動のより広範な傾向を浮き彫りにしている。IACIは、発地と着地のターミナル手数料を除外し、40フィートコンテナ当たりの米ドル換算で示される。

ドリュエリー社のサプライチェーンアドバイザーらによると、いくつかの重要な要因が現在の運賃の上昇傾向に影響している。これには、アジア全域の港湾混雑の深刻化、最近米国により導入された関税の影響、地域の流れに影響し始めている貿易パターンの変化等が含まれる。

アジア域内コンテナ指数は隔週で更新され、上海、釜山、ジャカルタ、ホーチミン、レムチャパン、高雄、ジャワハルラールネルーポート、シンガポール、マニラ、タンジュンペレパス、横浜、ジェベルアリ等の主要港を結ぶ航路の実際のスポット運賃を捉えている。

ドリュエリー社がこれらの動きを引き続き監視・報告する中、この指標は、世界で最も繁忙かつ複雑な地域貿易ネットワークの1つについて、変化し続ける動向を追跡する出荷業者、輸送仲介業者及びアナリストにとっての重要なベンチマークとして機能する。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)